

平成 30 年 6 月 13 日現在

機関番号：13701

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K04555

研究課題名(和文) 特別支援学校管理職の職能に関する調査研究に基づく教職大学院での研修モデルの検討

研究課題名(英文) Study of training model at professional school for teacher education based on survey research on function of special needs school administrators

研究代表者

坂本 裕 (SAKAMOTO, Yutaka)

岐阜大学・教育学研究科・准教授

研究者番号：20310039

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：教職大学院での特別支援学校管理職候補者研修モデル構築を目的とした。2015年9月、特別支援学校管理職、ミドルリーダー対象の悉皆調査を行い、管理職1146名、ミドルリーダー1246名の回答を得、分析した。特別支援学校学級担任経験有管理職は学級担任無管理職と比べて、授業実践に関する専門性が必要とする者が有意に多かった。力量形成を学級担任経験有管理職は勤務後10年前後の学級担任勤務の中で形成とする者が有意に多かった。これら結果等から、特別支援学校管理に関する科目群、特別支援学校教育課程・授業開発に関する科目群、学校経営に関する科目群、特別支援学校管理職臨床実習群からなるモデルを構築した。

研究成果の概要(英文)：In September 2015, a survey, which targeted special needs administrators and middle leaders was conducted. Responses were received from 1146 school administrators in managerial positions and 1246 middle leaders from 554 schools; subsequently, these responses were analyzed. On the basis of the survey, a training model for special needs school administration candidates in professional schools for teacher education was examined. Per the results of the examination, a training model was constructed, which was comprised of 20 subjects, three practical training sessions, and four groups-special needs school administration subjects, special needs school curriculum and class development subjects, school management subjects, and special needs school administrative clinical training.

研究分野：特別支援教育学

キーワード：特別支援学校 管理職養成 教職大学院 研修モデル

## 1. 研究開始当初の背景

わが国においては、グローバル化や情報化、少子高齢化などの社会の急激な変化に伴う高度化・複雑化する諸課題に対応可能な人材育成を支える教員の育成と、学び続ける教員像の確立が喫緊に取り組むべき課題とされている。その対応のひとつとして、マネジメント力を身に付けるための学校管理職としての職能開発のシステム化の研究が小学校・中学校・高等学校の管理職を想定して取り組まれ、兵庫教育大学等において教職大学院における研修モデルとして構築されている。一方、特別支援学校は少子化傾向にもかかわらず在籍児童生徒数が急増し、超重度から軽度の多様な障害の者が在籍する多な教育活動の実施が期待される状況となり、特別支援学校管理職のマネジメント力の発揮がこれまで以上に重要となっている。しかし、マネジメント力を身に付けるための特別支援学校管理職としての職能開発のシステム化の研究、そして、教職大学院における研修モデルの構築は未着手である。

## 2. 研究の目的

特別支援学校管理職のマネジメント力を身に付けるための学校管理職としての職能開発のシステム化として教職大学院における研修モデルを構築する。

## 3. 研究の方法

### (1) 課題Ⅰ：特別支援学校管理職の職能に関する意識の相異

#### ① 対象者

特別支援学校管理職（校長・副校長・教頭）1146名（内、学級担任経験有：846名）、ミドルリーダー（学部主事、教務主任）1246名

#### ② 時期・手続き

2015年9月。9844校に郵送し、554校から回答を得た。

#### ③ 質問項目

特別支援学校管理職専門性（コンセプチュアル）尺度（坂本・一門・沖中ら、2013）

・重要度：1（ほとんど重要でない）～5（とても重要）から1つを選択する。

・形成時期：10年目まで・20年目まで・20年以降・管理職拝命後から1つを選択する。

・形成方法：自己研修・日々の職務遂行・校内での研修・校長会又は教頭会での研修・教育委員会主催の研修から1つを選択する。

・個人属性（職名・勤務歴等）

#### ④方法

・管理職の学級担任経験の有無による意識の相異

特別支援学校担任経験有：846名、担任経験無：300名の2群にて尤度比検定を行った。

・職位による意識の相異

特別支援学校担任経験有管理職 846名、ミ

ドルリーダー1246名の2群にて尤度比検定を行った。

### (2) 課題Ⅱ：教職大学院における特別支援学校管理職研修モデル

#### ① 対象校

岐阜大学教育学研究科教職実践開発専攻学校管理職養成コース

#### ② 期間

2016年10月から2018年3月

#### ③ 方法

課題Ⅰの結果に基づき、教職大学院における研修モデルを検討する。

## 4. 研究成果

### (1) 課題Ⅰ：特別支援学校管理職の職能に関する意識の相異

#### ① 管理職の学級担任経験の有無による意識の相異

特別支援学校学級担任経験のある管理職は授業実践を管理職の職能としてより重要と考え、勤務後10年までに、もしくは、20年度までに形成すべきとしていた。これには教育課程の独自性が関与しているものと考えられた。

・管理職の職能の重要度

【障害児の主体的学習活動の推進力】

経験有管理職「とても重要である」、経験無管理職「すこし重要である」が有意に多かった。

【特別支援学校の授業計画の工夫力・開発力】  
経験無管理職「すこし重要である」が有意に多かった。

・管理職としての職能の形成時期

【障害児の主体的学習活動の推進力】

経験有管理職「10年まで」、経験無管理職「20年まで・20年以降・管理職以降」が有意に多かった。

【障害児の意欲形成の個別の支援推進力】

経験有管理職「10年まで」、経験無管理職「20年まで・20年以降・管理職以降」が有意に多かった。

【特別支援学校の授業計画の工夫力・開発力】  
経験有管理職「10年まで」、経験無管理職「20年まで・20年以降・管理職以降」が有意に多かった。

【障害児の心情・行動の総合的理解力】

経験無管理職「管理職以降」が有意に多かった。

【障害児の進路を見据えた教育推進力】

経験有管理職「10年まで」、経験無管理職「20年以降・管理職以降」が有意に多かった。

【保護者支援のための特別支援教育の知識・実践力】

経験無管理職は「20年以降・管理職以降」が有意に多かった。

【特別支援学校の教育計画の具体化力】

経験有管理職「10年まで」、経験無管理職「20年以降・管理職以降」が有意に多かった。

【特別支援学校の教育計画・実践の評価・改善力】

経験有管理職「20年まで」、経験無管理職「管理職以降」が有意に多かった。

【障害関係機関との連携推進力】

経験有管理職「20年まで」、経験無管理職「管理職以降」が有意に多かった。

② 職位による意識の相異

〔日々の職務〕を管理職は有効な力量形成の有効な場と捉えていた。しかし、ミドルリーダーは〔校外での研修〕を有効と捉えており、その相異が明らかになった。管理職は管理職候補生を〔日々の職務〕の姿から把握している可能性がうかがえた。

【保護者・地域との関係形成力】

管理職〔日々の職務〕、ミドルリーダー〔教育委員会研修〕が有意に多かった。

【障害関係機関との連携推進力】

管理職〔日々の職務〕、ミドルリーダー〔教育委員会研修〕が有意に多かった。

【学校の危機管理能力】

管理職〔教育委員会研修〕、ミドルリーダー〔校内研修〕が有意に多かった。

【校務推進計画の策定】

管理職〔自己研修、日々の職務〕、ミドルリーダー〔校長会・教頭会研修、教育委員会研修〕が有意に多かった。

【教職員評価の適正な実施力】

管理職〔教育委員会研修〕、ミドルリーダー〔校長会・教頭会研修〕が有意に多かった。

【自己課題の設定力】

管理職〔校長会・教頭会研修〕、ミドルリーダー〔校内研修〕が有意に多かった。

【円滑、有効な実践を促す指導・助言力】

管理職〔自己研修〕、ミドルリーダー〔教育委員会研修〕が有意に多かった。

【教職員の精神的支援力】

管理職〔自己研修〕、ミドルリーダー〔校長・教頭会研修〕が有意に多かった。

【教職員の人間関係の調整力】

管理職〔日々の職務〕、ミドルリーダー〔校長・教頭会研修、教育委員会研修〕が有意に多かった。

【教職員のモラル・職務満足度の解力】

管理職〔日々の職務〕、ミドルリーダー〔校長・教頭会研修〕が有意に多かった。

【教育委員会・教育関係団体との連携推進力】

管理職〔日々の職務〕、ミドルリーダー〔教育委員会研修〕が有意に多かった。

(2) 題Ⅱ：教職大学院における特別支援学校管理職研修モデル

課題Ⅰの検討結果を踏まえ、【教育推進力】

【学校経営力】【組織運営力】【組織管理力】の4群からなる教職大学院における特別支援学校管理職研修モデルを構築した。

【教育推進力】

特別支援学校担任経験のある管理職が最も重視している職能であり、特別支援学校に関する専門科目として4科目が配置された。更に、学校経営実習Ⅰとして院生の勤務経験のない障害種の特別支援学校での10日間の実習が配置された。

講義：特別支援教育の理論と実践

特別支援学校教育課程の理論と実践

特別支援学校・学級の授業開発

インクルーシブ教育の開発実践

授業研究基礎理論

生徒指導・教育相談の理論と実践

地域社会と学校の連携と協働

実習：特別支援学校管理職臨床実習

(学校経営実習Ⅰ)

【学校経営力】

特別支援学校担任経験のある管理職が管理職昇任前に形成しておくべきとした職能であり、特別支援学校に関する専門科目2科目、他校種と共通する必修科目3科目、選択科目4科目が配置された。

講義：特別支援学校経営の理論と実践

特別支援学校の危機管理対策

学校経営の理論と実践

学校改革の理論と実践

カリキュラムマネジメントの理論と実践

教育施策の理論と実践

教育法規の解釈と実践的運用

学校評価の実践開発

学校経営計画の開発実践

実習：特別支援学校管理職臨床実習

(学校経営実習Ⅱ)

【組織運営力】

教職員のやる気を起こし、協働を促す職能を高める科目として、実務家教員による学校組織における意思形成システムに関する科目が配置された。また、学校経営実習Ⅰでも管理職によるレクチャーが配置された。

講義：教職開発論

実習：特別支援学校管理職臨床実習

(学校経営実習Ⅰ)

【組織管理力】

特別支援学校担任経験のある管理職が日々の職務の中で成しておくべきとした職能であり、岐阜県教育委員会特別支援教育課での10日間の実習が配置された。

実習：特別支援学校管理職臨床実習

(教育行政実習)

5. 主な発表論文等

【雑誌論文】(計0件)

【学会発表】(計5件)

①坂本 裕・一門恵子・河津 巖・平澤紀子・松本和久. 特別支援学校管理職の職能に関する調査研究に基づく教職大学院での研修モデルの検討Ⅰ. 日本特殊教育学会. 2015年9月20日. 東北大学(仙台市)

②坂本 裕・一門恵子・平澤紀子・松本和久. 特別支援学校管理職の職能に関する調査研究に基づく教職大学院での研修モデルの検討Ⅱ. 日本特殊教育学会. 2016年9月19日. 新潟大学(新潟市)

③一門恵子・坂本 裕・平澤紀子・松本和久.

特別支援学校管理職の職能に関する調査研究に基づく教職大学院での研修モデルの検討Ⅲ. 日本特殊教育学会. 2016年9月19日. 新潟大学 (新潟市)

- ④坂本 裕・一門恵子・平澤紀子・松本和久.  
特別支援学校管理職の職能に関する調査研究に基づく教職大学院での研修モデルの検討Ⅳ. 日本特殊教育学会. 2017年9月17日. 愛知教育大学 (名古屋市)

[その他]

ホームページ等

<http://www.ed.gifuu.ac.jp/kyoshoku/index.html>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

坂本 裕 (SAKAMOTO, Yutaka)  
岐阜大学・教育学研究科・准教授  
研究者番号：20310039

### (2) 研究分担者

平澤 紀子 (HIRASAWA, Noriko)  
岐阜大学・教育学研究科・教授  
研究者番号：20320393

三尾 寛次 (MIO, Kanji)  
岐阜大学・教育学研究科・教授  
研究者番号：70706964

吉村 嘉文 (YOSHIMURA, Yoshofumi)  
岐阜大学・教育学研究科・准教授  
研究者番号：10737167

田村 知子 (TAMURA, Tomoko)  
岐阜大学・教育学研究科・准教授  
研究者番号：90435107

一門 恵子 (ICIKADO, Keiko)  
九州ルーテル学院大学・人文学部・教授  
研究者番号：00040072

河津 巖 (KAWATSU, Iwao)  
九州ルーテル学院大学・人文学部・教授  
研究者番号：90620401

山本 邦治 (YAMAMOTO, Kuniharu)  
植草学園短期大学・福祉学科・教授  
研究者番号：10635105

松本 和久 (MATSUMOTO, Kazuhisa)  
岐阜聖徳学園大学・教育学部・准教授  
研究者番号：40635346

### (3) 連携研究者

なし

(4) 研究協力者  
なし